

Oneness通信

このたび日本GAP横浜支部では支部活動をお知らせする場として「Oneness通信」を発刊することにいたしました。月例セミナーを間近に控えて、参加のお知らせと各種行事など、今横浜支部ではなにが行われようとしているのかを身近に感じていただければ幸いです。

3月の月例セミナーのご案内

日時 3月22日(日) 13時～17時
会場 横浜市技能文化会館 701会議室
プログラム

- ◎東京月例セミナーにおける
「宇宙哲学能力開発講座」解説テープ公開
第十章 感情のバランス 久保田八郎先生
- ◎座談会
- ◎テレパシー練習

※UFO観測会をセミナー終了後行います。30分程度。セミナー会場前「石の広場」を予定しています。(時間的には短いですが、季節的には寒くなりますのでご注意ください。雨天中止)

※夕食会 6時～



身近なテレパシー

先日あることをきっかけに知り合った友人たちとお酒を飲むことになった。場所は虎ノ門である。初めて行くところであり、簡略な地図だけを頼りに簡単に行ける場所ではなかったと思う。私はそれでも容易にいけるとする気持ちとわくわくした楽しい思いとが交錯して仕事を早く切り上げ勇んでいったのであった。今思えば、地下鉄の地上出口を全然見間違いなところから出たのであったが、それがかえって良い結果となった。

知らないことは無心になれる。よけいな詮索や迷いが無い。ただこうして活動していることが楽しい。地上に出た瞬間、通りかかった人物がその日の会場を手配した幹事だったのである。この日もっとも効率よく会場に到着できたことは言うまでもない。(S)

日本GAP横浜支部ホームページ

<http://www.usemanage.com/gap-japan/yb/>

横浜支部では来る5月にはインターネット上にホームページを開設してから1周年を迎えます。これまで数々の意見が寄せられてきました。一部をご紹介します。

競争から共生へ

投稿者 ikawa 日時 1997年11月18日 08:37:57:

ダーウィンの進化論に始まり、自然の進化は競争原理すなわち環境に適合するもののみが生き残るシステムが働いていると考えられていた。しかし、最近の研究結果から、数万年の時間が流れている熱帯密林では、競争原理より共生原理が強く支配している事が明らかになりつつある。その微妙な関係は、競争あるいは敵対関係から進化して、共生関係を確立していった過程が見られるという。その研究の第一人者は井上民二という方である。彼は言う”21世紀の人間社会のあり方は、熱帯密林で見られる共生社会にヒントがある”と。なぜ、共生社会が重要な意味を持つのだろうか？もし、現在の環境にもっとも適合する能力が高い生物のみが生き残ってしまうと、環境が

激変した時、その生物は絶滅してしまう可能性が高い。このような事を防止するため、生命体の遺伝子には、多様な種に分化、進化するようにプログラミングされているかもしれない。(まさに宇宙の意志である。)この多様な種の共生が、多様な考え方を持つ人間の共生に置きかえることができるのだろうか？ 全く同じ人間はいないのだから、人間個々に内奥する無限とも言うべき個性的能力が、開放されたならば、今ある環境問題は解決されるような気がするのだが……



日本GAP横浜支部 <oneness@blue.plala.or.jp>
最終更新日: 1998/03/09

003332